

平成 26 年度 事業 報告 書

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人
こどもプロジェクト

1. 事業の成果

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災から 4 年目となる本年度は、震災以来継続している福島から東京へ避難している母子や福島県内の子どもたちを今後長期的に支援するために長野県上田市に滞在施設と食のプログラムを提供する環境づくりを始めた。夏、冬、春と 3 回 2 泊 3 日で自然体験・リフレッシュプログラムを組んで、約 150 名の福島母子を招待した。本事業において、上田市での受け入れ態勢や支援団体との連携ができ、また現地法人より滞在施設 7 部屋の提供を受ける結果となった。上田でのカフェの開設を目指して月に 1 回の中国料理教室も始めた。東京での活動は 2 カ所、月 2 回の学習支援、月 1 回のレクリエーション、母子英会話サロンなどを定期的に行き、避難母子向け中国料理教室も開催した。11 月には第 3 回となる明治神宮外苑の野球場で福島の子どもと家族を 170 名招待して東京ヤクルトスワローズ選手の野球教室を開催した。これらの事業の中で抽出した課題で最大なものは、災害支援法で対応している避難者用無償住宅期限の延長である。福島県内は子どもたちにはまざまざ安心できないと判断して避難している方は、帰還困難区域を含めても全国で 45,000 人以上いるが、当初思いもよらなかった原発事故の収束への長期化が、現行の法律でカバーできず避難生活を困難にしている。それら住宅問題とともに子どもたちの健康被害のリスクの軽減が、今後の活動のメインになる。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内 容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報通信ネットワーク構築事業	こどもプロジェクト HP, メールマガジン	平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月まで	東京都内	2 名	子育て支援者、当事者 10,000 名	100
講演会事業	福島からの母子支援ネットワークシンポジウム	平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月まで	東京都内	40 名	NPO、メディア、当事者 100 名	600
子どもの居場所作り・奉仕体験事業	福島っこ学習支援、レクリエーション、リフレッシュ	平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月まで	東京都内	50 名	当事者約 500 人	19300
次世代育成支援対策推進事業	福島からの母子の食育	平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月まで	東京都・上田市内	5 名	当事者約 250 人	2,000
ホームページなどの運営	こどもプロジェクト HP にて子育て支援情報を提供	平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月まで	インターネット上	3 名	利用者・一般 5,000 名	100

(2) 営利活動に係る事業

なし